

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品名・化学物質等の名称	エコクリーン
会社名	株式会社ニチワ
住所	東京都渋谷区元代々木町31-1
電話番号	03-3469-3801
緊急時の電話番号	03-3469-3801
FAX番号	03-3469-6881
推奨用途及び使用上の制限	主用途として工業用潤滑油(水溶性切削油)等の代替品

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類できない。(分類基準に該当しない。)
健康に対する有害性	本品は、主成分が水から生成されたアルカリ電解水であるため、有害性はないが、潤滑油添加剤を含有しているため(同電解水で希釈されてはいるものの)、目や粘膜に触れると刺激性がある。
環境に対する有害性	分解性が良好と判断される化学物質

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別		混合物	
製品名・化学名(又は一般名)		エコクリーン(水及び添加剤)	
成分および含有量			
成分	含有量	官報公示整理番号(化審法・安衛法)	CAS No.
潤滑油添加剤	10~20%	企業秘密なので記載できない	
強アルカリ電解水	80~90%	非該当	581-08-7

### 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にした後、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水および石鹸で洗い流す。症状が出た場合には、医師の診断を受ける。
目に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上洗顔をした後、眼科医の手当てを受ける。洗浄の際、まぶたを指でよく開き、眼球、まぶたのすみずみまで水が行き渡るように洗浄する。
飲み込んだ場合	多量の水を飲ませ、水で口中をよく洗い、必要に応じて医療処置を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤	霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡が有効。
-----	----------------------

特有の危険有害性	消火の際には煙等を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、煙やガスの吸入を避ける。状況に応じて適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	主成分が水から生成されたアルカリ電解水であるため、人体に対して安心・安全だが、屋内の場合は念のため、十分に換気を行う。作業の際には必要に応じて適切な保護具を着用し、皮膚が弱い人などは飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。
環境に対する注意事項	主成分が水から生成されたアルカリ電解水で、環境に対して安心・安全であるため、特別な処置は必要としないが、河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収・中和	漏出した液は、主成分が水から生成されたアルカリ電解水であるため、安心・安全だが、潤滑油添加剤等を若干含んでいることから、吸着剤、土砂等に吸着させて空容器に回収するのが好ましい。その後、必要に応じて中和し、多量の水を用いて洗い流す。作業は風上で行い、必要に応じて保護具を着用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い技術的対策 注意事項	眼および皮膚への接触を避ける。 容器は転倒、落下、衝撃あるいは引きずる等の粗暴な扱いはしない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手や顔等をよく洗い、うがいをする。 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取扱い・注意事項	吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように、必要に応じ保護具を着用する。 屋内作業場における取扱場所では、局所排気装置を使用する。
保管 適切な保管条件	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に保管し、空気との接触を避ける。
技術的対策 混触禁止物質 安全な容器梱装材料	涼しいところ、換気のよい場所で保管すること。 酸化剤及び酸化性の強い物質、還元剤、塩基と混合。 ポリエチレン

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準	設定されていない。
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
日本産業衛生学会	設定されていない。
ACGIH TLV(s)	設定されていない。
OSHA PEL	設定されていない。
設備対策	取扱場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。
保護具	
呼吸器の保護具	必要に応じ保護マスク
手の保護具	必要に応じ保護手袋
眼の保護具	必要に応じ保護眼鏡(必要に応じゴーグル)
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖作業着、保護長靴
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状	透明液体
色	無色～淡黄色・白色
臭い	無臭～微臭(弱いアミン臭)
pH	約12.7(強アルカリ性)
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
燃焼性(固体、ガス)	データなし
爆発範囲(上限・下限)	データなし
蒸気圧	データなし
比重(密度)	約1.15
溶解度(溶媒に対する溶解度)	水に極めて溶けやすい。
オクタノール・水分配係数	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	強酸化剤との接触を避ける。本品には若干ではあるがエタノールアミンを含むため、亜硝酸塩を含む防錆剤との接触を避けること。
避けるべき条件	日光、混触危険物質との接触。
混触危険物質	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質
危険有害な分解生成物	燃焼の際は煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

## 11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性 魚毒性	データなし
残留性／分解性	データなし
生体蓄積性	データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>①焼却法          燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行う。</p> <p>②活性汚泥法          廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。上記方法による処理ができない場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。</p>
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
国連分類	非該当
海洋汚染物質	非該当
注意事項	<p>輸送前に容器の破損、腐食および漏れのないことを確認する。</p> <p>転倒、落下および破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p> <p>直射日光を避ける。</p>

## 15. 適用法令

消防法	非該当
毒物および劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
船舶安全法(危規則)	非該当
航空法	非該当
化学物質管理促進法 (PRTR法)	非該当
海洋汚染防止法	施工令別表第1有害液体物質乙類物質

## 16. その他の情報

### 引用文献

1. 経産省広報平成5年12月28日
2. 化学大事典共立出版(1993)
3. 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版化学工業日報社(2003)
4. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2005)
5. 産業中毒便覧後藤稠他編医歯薬出版社(1997)
6. 有機化合物辞典有機合成化学協会編講談社(1985)

### 記載内容の取り扱い

1. 本データシートは本製品に関する一般的な取り扱いを主に記載しており、本目的以外に関しては考慮されていない場合があります。
2. 記載された内容は、現時点で入手できた情報およびメーカー所有の知見によるものですが、すべての情報を網羅しているものではありません。
3. 記載している値は、安全な取り扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
4. 本製品はこの製品安全データシートをご参考の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。また、特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。
5. 法令の改正あるいは新たな情報によって、追加または訂正されることがあります。

以上